

那須議会フォーラム

回答書

那須町議会では令和6年度、次の地区で那須議会フォーラム（議会報告会）を開催いたしました。

那須議会フォーラムでいただきましたご意見は、各常任委員会で町担当部署等から聞き取り調査し回答を取りまとめました。

このご意見は、予算要望や政策提言、また、各議員の一般質問等へ繋げてまいります。

8月20日・・・大島地区（大島コミュニティセンター）

8月22日・・・高久地区（那須町農村婦人の家）

8月26日・・・田代地区（大同集落センター）

那須町議会改革推進協議会

令和6年度 那須議会フォーラム 意見交換会の取りまとめ

意見等	回答
人口減少、過疎化が進み働く場所が少ない為、若者が出て行ってしまう。まずは、道路整備を行い企業誘致に取り組んでほしい。企業が来れば若者が定着するのではないか。農地転用も行うことで、企業誘致に取り組んでほしい。	企業誘致には、用地の確保や道路整備が必要である。国道4号及び幹線道路沿いの開発を進める事が重要であるため、農地転用の必要性を含め町に提言していく。
自治会で町道の草刈りを行うが、設置してある看板が草刈りの邪魔となっている。場所を少し奥にするか、きちんと管理をしてほしい。看板がある為、草を刈るのが困難。)	建設課とヒアリングを行い、何の看板であるかわからないので確認後、対処する。
りんどうラインの道路を頻繁に剥がし整備しているが、ほかの場所でも行える道路があるのではないか。	建設課にヒアリングを行い、今回の事業は、広域農道と町道が対象となっているが、広域農道を整備する補助事業が他に無いため、広域農道りんどうラインを重点にやっている。 一般町道についても整備を要望していく。
雨が降るとU字溝が溢れてしまう。自治会で行っているが高齢者が多いので非常に大変であり、町へ申請すれば対応してくれるのか。	溢れて民地に流れている場合は、町に申請すれば必要に応じて対処する。
県では除草作業を50cm幅でしてくれるが、それだけではどうにもならない。予算で行っているのならばその予算を地元に出してほしい。自分たちで50cm以上の除草作業をしている。50cmと規定があるのは理解しているが、県の無駄遣いではないのか。	大島湯本線は県道であるため、道路補修・除草については県議を通して土木事務所に伝えていく。
大島・湯本線の道路の穴埋めもただ埋めただけの仕事になっている。足で踏むと沈んでしまうし、石ころも道路に飛散している。やるならきちんと直してほしい。	大島湯本線は県道であるため、道路補修・除草については県議を通して土木事務所に伝えていく。

意見等	回答
イノシシが多く、熊も毎日のように発見されている。田んぼにイノシシが来て困る。	イノシシ、クマ、ハクビシンなどの出没が増えている状況にあり、農作物被害の点からも対策が必要である。クマについては捕獲条件があるが、町の鳥獣被害防止計画の見直しや、鳥獣被害防止に対する支援の拡充など町に訴えていく。
小川が流れているが、ちょっとの水が流れるとのみこめずに公民館に流れてしまう。ボックスカルバートなら流れるのか。	担当課に現状を報告したところ、建設課は、管理者や水利組合等の地図がなく、町では把握できないとの回答であり、今後、現状を把握しつつ、排水路の整備について要望していく。
公民館は修理したが、敷地は町の物。フェンスが壊れてテニスコートは草が生えている。自分たちではどうにもできないから町でどうかしてほしい。	町の考えは、基本的は地域で管理するものと考えているということであるが、議会として、今後も要望していく。
コミュニティーと自治公民館で同じなのか補助金も30%しか出ない。フェンス・テニスコートの撤去を町にお願いしたい。	撤去後の利用方法を地元で検討して、町に相談してもらいたい。
昔の母子センターは古い。すべてをリボール田中に移してはどうか。古すぎて環境に悪い。	参考意見として伺う。
町道の改良を昔はよく行っていた。今はほとんどしていない。町へ申請しないしてもらえないのか。緊急時に困るのではないか。毎年計画的に行ってほしい。	町道整備計画の具体的な中身や、執行順位の基準など調査し、町民が真に求める町道整備が行われるよう注視していく。また、議会に要望があった道路整備については現地を確認し、速やかな工事につながるよう町に要望していく。
ふるさと納税の使い道はどこに入るのか。	ふるさと納税の使い道は、寄附者の指定に従い必要に応じて使われる。
友愛の森での商品欠品が続いていると話を書く。駐車場は広いのに商品が揃っていないのはもったいない。東山道にも力を入れてはどうか。	商品の欠品に関して、町は委託事業者へ改善するよう働きかけをしている。道の駅東山道伊王野へも水車の改修や施設の改築等を行っている。どちらの道の駅もより利用促進が図られるよう、働きかけていく。

意見等	回答
友愛の森のトイレに一億円かけたと聞いている。	参考意見として伺う。
町には、自治会 90カ所あるが、その内、防災倉庫があるのは 11カ所だけである。自治会の数だけ全カ所に防災倉庫を設置して欲しい。	自治会では、自主防災組織が組織されることにより防災倉庫が整備されることから、自主防災組織の組織化を検討してもらいたい。
自主防災組織を作るうえでの知識を植え付けて欲しい。	町から全戸に配布されている防災マップでも防災知識を得られます。また、町広報令和6年度6月号でも防災について詳しく扱っている。 町では、自治会に対して自主防災組織の立ち上げの資料を配布し、自主防災組織の設立を呼びかけている。また、町民向けの防災研修を年に数回行っている。
高齢者の居場所作りの補助金が3万円しか出ないので、持ち出しが多く厳しい。ガソリン代も出ない、ガソリン代にも使えるようにもう少し補助金を上げて欲しい。大沢地区は協力的で感謝されている。	議会としては、課題を把握して町に要望していく。
買い物ができる商店がなく、高齢者が買い物にも行けない。移動販売とかが来れるようにして欲しい。	町内でも試験的に移動販売を実施している団体（芦野地区生活支援協議会、つぼみん）があるので、議会としても調査研究を進めていく。
異常気象のなか、余笹川等今の現状で本当に安心なのか河川の調査等をして欲しい。	町が、河川の安全性について県土木事務所に確認する。
道路に被さっている樹木をどうにかして欲しい。	町道については、町が地権者に伐採等をするように指導している。
AEDを24時間使用できるようにして欲しい。設置場所をわかるようにして欲しい。	イベントや競技会など使用については、町で貸し出しをしている。また、設置場所はホームページで確認してもらいたい。
小島から学びの森小学校までの歩道の草刈りをまめにやって欲しい。	県道については、状況を確認して県議を通して土木事務所に伝えていく。

意見等	回答
少子化対策を真剣に考えて欲しい。	総合的な取組が必要であり、こども未来課やふるさと定住課、企画政策課等横断的に連携をして進めていくよう議会として要望していく。
町職員を那須町に多く住めるようにして欲しい。	役場職員に限らず、人口増加のためには住居の確保は必須である。町では、単身者やファミリー向けの町営住宅の整備に向け用地取得をしている。議会でも、より多くの住居の確保に向け、空き家等の利活用にも注視し、町へ住居の確保を促していく。
フォーラムの参加者が少ない。周知の方法に工夫をすべき。	今後の周知方法を議会として検討していく。
フォーラム資料の内容が大まかすぎて、議会が何に取り組んでいるのか、何を課題としているかが分からず、そのためそれをフォーラム内で議論する事が難しい。	参考意見として伺う。
高久地区内に高久地区における歴史的資料の展示場所を設けてほしい。	町としては新たな展示施設の整備は考えていないが、高久地区の歴史的な資料の保存については、歴史探訪館に相談してもらいたい。
高久中学校跡地利用委員会で、高久地区コミュニティセンター設置の要望を出しているが、進展させてほしい。	町は地元と相談しているところであり、議会としても注視していく。
地域内コミュニケーションが薄れている。敬老会の在り方、体育祭の在り方など検討してほしい。	今後の公民館主催の体育祭のありかたを検討している。
旧高久保育園の整備がなされたが、利用が限られている。議会も関与・支援して欲しい。	参考意見として伺う。
丸山橋付近道路整備が未達状態になっている。	地権者の了承をもらって、地元説明、用地取得、工事改良を順次進めていく。

意見等	回答
農業者所得が低く、後継者が育たない。県はイチゴを強くPRしてきているが、それだけでなく那須町独自のブランド（特産品）の創出など、農業の発展について議会でも議論してほしい。	本町の就農者年齢構成、後継者の有無など考慮すると、ここ数年で本町農業の転換期が訪れると予想される。議会としてもこれを大きな課題ととらえ議論をしていくが、解決策を見出すには至っていない。今後もさまざまな角度からの議論をしていく。
筒地の橋が通ることによる高久地区の活性化が期待される。開発に伴い農地転用などの問題が発生するが、農振地域除外の方法論など議論すべき。	西那須野那須線、筒地橋の開通は町の発展におおきな期待がもたらされると認識している。道路周辺の開発に伴う農地転用の必要性を町に提言していく。
クマが高久地区においても目撃されている。クマに関しては被害の確認があって初めて捕獲などの処置となるが、それでは住民不安が払しょくされないため、別の対応が必要ではないか。	イノシシ、クマ、ハクビシンなどの出没が増えている状況にあり、農作物被害の点からも対策が必要である。クマについては捕獲条件があるが、町の鳥獣被害防止計画の見直しや、鳥獣被害防止に対する支援の拡充など町に訴えていく。
中央運動公園や余笹川公園駐車場の整備（イベント等多くの車を受入れやすくするため）	土地の確保が困難なため、駐車場の拡張は困難なため難しい。駐車場の凸凹などは整備していく。
庁舎や公共施設照明のLED化の推進状況（早急に対応を）	令和9年の蛍光ランプ販売終了までに、庁舎をはじめ町有施設のLED化の完了を予定しており、現在準備を進めている段階である。
観光地のインバウンド受入れ状況は。（受け入れ体制を含めた要望）	那須町の外国人旅行客の受け入れ状況は横ばいであるが、町では、全国11地域の一地域として選ばれた高付加価値のインバウンド事業を活用して、官民協力して取り組んでいる。 議会としても、更なる受け入れ体制の強化を町に要望していく。
民泊の推進で町の魅力を広く知ってもらう取り組みは	観光協会は、大田原ツーリズム等と協力して取り組んでいる。議会としても、町の魅力を広く知ってもらうために民泊を増やすよう町に要望していく。

意見等	回答
部活動地域移行の進め方に対する疑問 (保護者の意見を聞いて進めてほしい)	町としては、今後も学校や保護者の意見を聞きながら段階的に地域意向を進めていく。
環境美化問題（町道の草刈りを地域の方に徹底してほしい）	建設課にヒアリングを行い、町としては、地域間における町道の草刈りの地域格差については、自治会間で話し合っ て欲しい。
道路の問題（枝の伐採、道が細くなる危険個所の看板設置等、ごみ投棄、罰則規定は）	枝の伐採は、基本的には地権者に相談しているが、危険が伴う時は町がやっている。 危険箇所の看板については、基本的には設置しているが、設置する場合は、危険性判断して設置する。 ごみの不法投棄については、対応を町に要望していく。
看板設置規定を厳守してほしい	町としては更なる調査を行い、注意喚起を継続していく。
鳥獣駆除に対する要望（特にクマ駆除は出来ないか）	イノシシ、クマ、ハクビシンなどの出没が増えている状況にあり、農作物被害の点からも対策が必要である。クマについては捕獲条件があるが、町の鳥獣被害防止計画の見直しや、鳥獣被害防止に対する支援の拡充など町に訴えていく。
若者の定住化（保育園の統合による問題）	地域の特性や社会に必要な教育理念を定め取組みを進めることで、若者が定住できる施策を町に要望していく。
子どもを預ける場所の確保や教育に対する町の考え	大同保育園跡地に民間事業者が新たに第三の居場所作りとして放課後児童クラブやフリースクール、学習支援、休日預かり等の取組が開始される。町の宝として子どもたち一人一人が社会に出ても自らの力で生き抜いていける力を身に付けさせたいと考えている。